

支部広報委員会の取り組み ～市民に向けた活動を目指して～

山口県 (社)防府薬剤師会 広報委員会

○山田純一朗 佐藤洋平 渡邊太朗 吉岡宏 松井都世子 白野陽正

### 【はじめに】

(社)防府薬剤師会広報委員会では、市民の皆様に薬をより良く使って頂くため、2004年2月2日～29日にかけてアンケート調査を行ったので、その結果を報告する。

### 【調査方法】

対象は、各薬局にアンケートを配布し、来られた患者さんに記入してもらった。

アンケートの内容は薬剤師の対応、説明の満足度、薬剤師から受けた説明、また聞かれて不快に感じる事、薬局及び薬剤師に対しての印象・望む事、かかりつけ薬局・お薬手帳について、薬の情報等。

### 【結果】

アンケート総数542枚(男：女 3：7)

薬剤師の対応	: 良い 69.9%、やや良い 11.0%
薬剤師の説明	: 満足 63.5%、やや満足 14.4%
薬剤師から受けた説明	: 副作用 50.0%、効能・効果 44.1%、飲み合わせ 33.0%
薬剤師から聞かれて不快に感じる事	: 特になし 74.2%、病歴 7.0%、受診理由 6.8%
かかりつけ薬局	: 知っている 85.1%、決めている 67.4%
お薬手帳	: 知っている 83.5%、利用している 49.6%
市販薬購入時の基準	: 自分の判断 37.5%、薬剤師に勧められて 27.5%、CM13.7%
薬剤師に相談して買いたい市販薬	: 風邪薬 31.2%、鎮痛剤 19.2%、胃腸薬 15.1%
薬に関する情報収集	: 薬剤師に聞く 49.1%、医師に聞く 36.3%、テレビ・新聞 23.4%
薬以外に薬剤師に相談したい事	: 健康食品 21.0%、健康法 17.5%、季節ごとの疾患 17.3%
他に使用している薬を薬剤師に話す	: 自分から話す 38.5%、聞かれたら話す 44.1%
夜間・休日に緊急で薬が必要になった	: 38.2%
薬の相談室・講演会があれば参加したい	: 43.9%

### 【考察】

この結果より、薬剤師の対応・説明に関しては大方満足していると思われる。薬局・薬剤師の印象も良い結果が出ている。かかりつけ薬局に関しては8割以上が知っており、決めている方が60～80代で8割、全体でも6割以上いる結果であったが、日頃の服薬指導業務の中で、それだけ決めている患者さんがいるようには思えず、かかりつけ薬局の意味を間違えて理解しているように考えられる。お薬手帳に関しては、知っている方が8割以上いるが、実際に利用している人はその半分程度であり普及されていないのが現状である。市販薬の購入に関しては、風邪薬、鎮痛薬で薬剤師に相談したい方が多く見られ、薬の情報収集に関しても、「薬剤師に聞く」が一番多いという結果となった。このことから薬剤師による説明が必要とされていると思われる。また、4割弱の方が夜間・休日に緊急でお薬が必要になった事があり、夜間・休日での対応も今後考えていかなければならない。

今後、広報委員会では今回のアンケート調査の結果を踏まえて、より市民に向けた活動に取り組んでいきたい。

